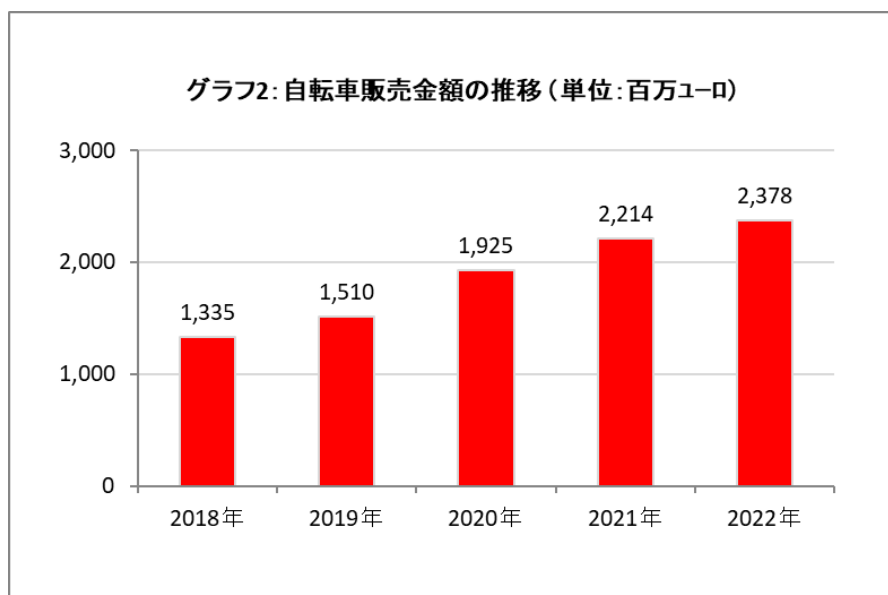
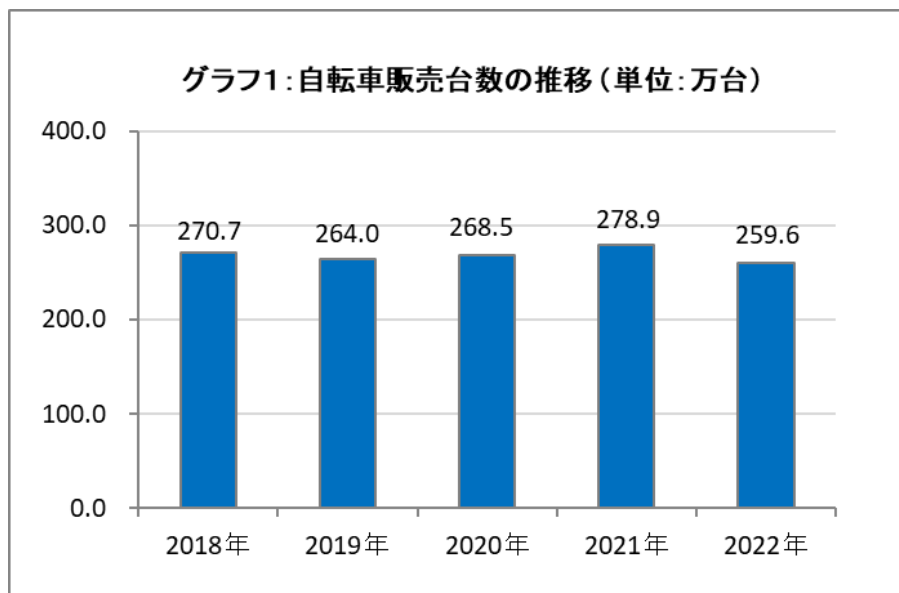


フランス自転車市況－2022

1. 自転車販売動向

フランスのスポーツ・サイクル用品の業界団体「Union Sport & Cycle」によると、2022年の自転車販売は台数ベースで前年比6.9%減の259.6万台と、2021年に対して若干の減少となった。

一方、金額ベースでは前年比7.4%増の2,378百万ユーロと、2021年（前年比15.0%増）に引き続き伸びをみせた。金額ベースで2020年と比較すると23.5%増となっている。

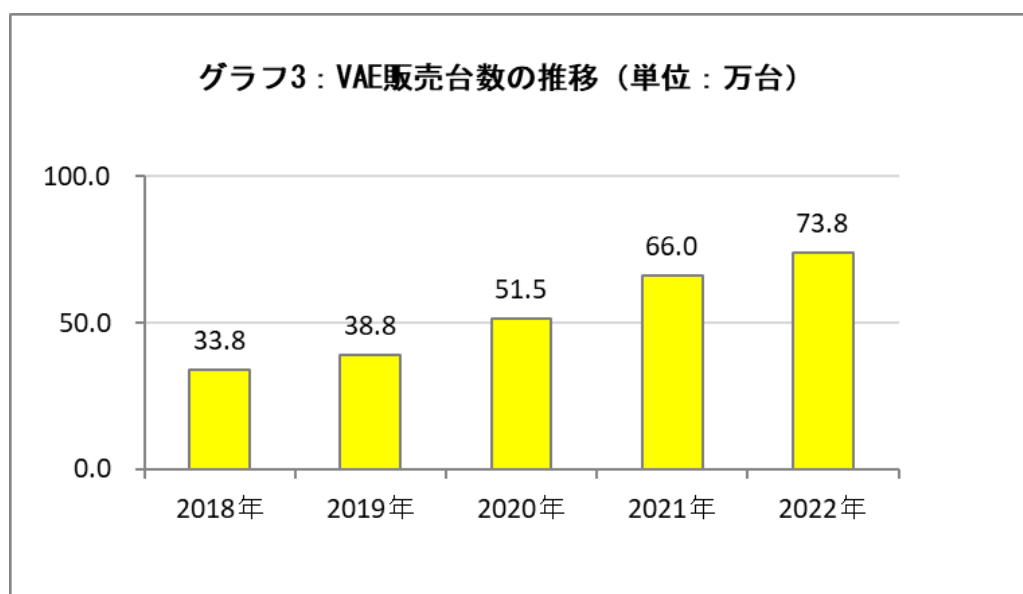


Union Sport & Cycle は「困難な経済状況にもかかわらず、自転車市場全体（自転車、部品及び付属品）は 2022 年も成長を続け、累計売上高は 36 億ユーロとなり、前年比で 5.2% 増加した。過去 4 年間で 52% に達するこの成長率は、過去 2 年間に発生した世界的な健康危機を考えると、さらに注目に値する」としている。

また「自転車市場は電動アシスト自転車の販売が牽引するものの、自転車（アシストなし）の販売が減少したことで弱体化」として、「総売上高が 7% 増加した自転車市場は、現在 23 億 7,800 万ユーロに達しており、今年も大きな成長を遂げている。この成長の主な原因は 738,000 台の販売台数（対 2021 年 12% 増）で再び記録的な数値に達した電動アシスト自転車の販売である。逆に、自転車の売上高は 2021 年に比べて 13% 減少し、2016 年に始まった減少傾向が続いている。この落ち込みは主に、インフレの影響を特に受ける 2 つの製品カテゴリーである幼児用自転車と子供用自転車の販売の減少によるものであり、大局的に考える必要がある」としている。

2. VAE 販売動向

VAE（Vélo à assistance électrique／電動アシスト自転車）の販売は、台数ベースで前年比 11.8% 増の 73.8 万台と 1 割強の増加となったが、2019 年と比較すると 90.2% 増、2020 年とでは 43.3% 増となっている。



Union Sport & Cycle は、自転車の売上高減少の状況にも「フランス人が好んで使う移動手段は自転車」だとして「自転車はフランスで最も売れている輸送手段としての地位を確立しており、販売された個々の輸送手段の 43% を占めており、スクーター（26.5%）や自動車（26%）を大きく上回っている。その効果は測定が難しいままであるが、政府が導入した電動アシスト自転車の購入に対する補助金は、業界のプラスの結果に貢献している。これらのインセンティブ措置は、フランスで、特に最も控えめな世帯の間で自転車の使用を促すために不可欠であり、したがって恒久的にする必要がある」としている。

また、フランス国内生産や輸入について「フランスの自転車生産は増加傾向にあり、2022年にフランスで854,417台が生産され、そのうち52%が電動アシスト自転車で、前年比7%の増加である。予測では、フランスの自転車生産は2023年には900,000台を超えるであろう。輸入は、イタリア（21%）、ルーマニア（15%）、ポルトガル（15%）が、フランスの自転車輸入の51%を占めている」としている。

さらに「12年間途切れることなく成長してきた電動アシスト自転車は、フランスで最も売れている輸送手段としての地位を確立している。しかし、市場シェアは28%であり、オランダとドイツで見られる勢い（自転車販売のそれぞれ57%と48%を占める）を考えると、その発展の可能性はかなりのものである。このダイナミクスと、フランスで5年以内に200万台以上の自転車を生産するという私たちの野心とが相まって、フランスは欧州自転車市場の経済的リーダーになるであろう」としている。

以 上

出所：Union Sport & Cycle